

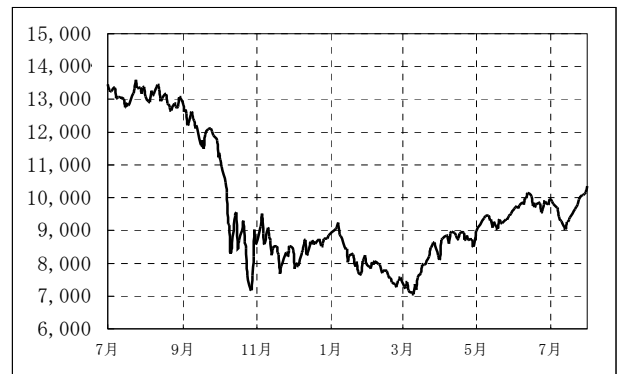
平成21年7月末 変額保険（特別勘定）の現況

当月の運用環境

【国内株式】

月初9,800円台の水準で始まった日経平均株価は、米国雇用統計の悪化をきっかけに下落基調となり、月初から9日続落して13日には9,000円割れ直前の水準となりました。しかし、その後予想を上回る米国企業決算の発表を受けて米国株式は高値を更新し、出遅れていた日本株も上昇に転じました。日経平均は14日から27日にかけて今度は9日続伸を記録し、1万円台を回復しました。結局日経平均は、前月比4.00%上昇の10,356円で月末を迎えました。

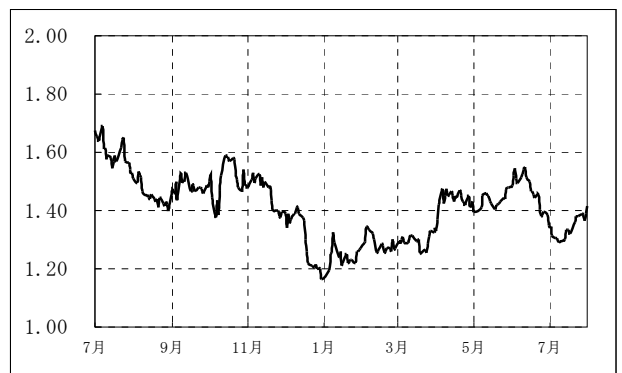
日経平均株価



【国内金利】

10年国債利回りは月初1.3%台半ばの水準でスタートし、景気後退長期化の観測と株安から、一時1.3%割れの水準まで金利低下が進みました。しかし、中旬に入ると高値警戒感から金利低下基調は鈍化し、株式市場が反発すると長期金利も上昇に転じました。結局10年債利回りは1.4%台前半まで上昇し、7月の取引を終えました。

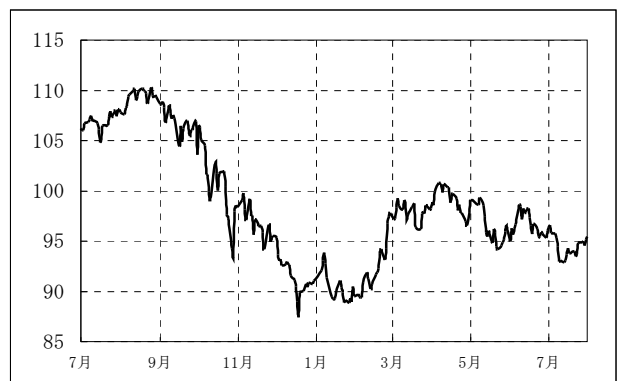
10年国債利回り



【為替】

7月のドル円為替相場は96円台から始まりましたが、米国雇用統計の下振れをきっかけに米国経済に対する楽観論が後退し、8日には91円台まで急激に円高が進みました。しかし中旬に入り、米国企業の決算発表を受けて景気に対する警戒感が一服すると、為替相場は緩やかなドル高円安基調へと転じました。このドル高の流れは下旬も続き、結局ドル円相場は94円台後半で月末を迎えました。

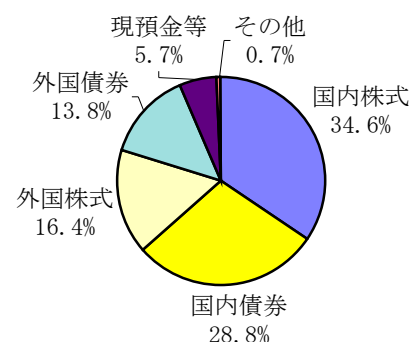
ドル円レート（対顧客電信仲値）



当月の運用経過

今月は資産配分の変更は見送りしました。
今月は国内外の株式相場の上昇を受けて、国内株式、外国株式の組入れ比率は前月比増加し、それぞれ、34.6% (+0.4%)、16.4% (+0.8%) となりました。それにともない国内債券、外国債券の組入れ比率は、それぞれ、28.8% (-0.6%)、13.8% (-0.5%) となりました。

当月末資産時価構成比



資産別運用状況

資産区分	平成21年7月末		21年度 計 画	計画差異	今後の方針
	金 額 (百万円)	構成割合			
国 内 株 式	1,688	34.6%	32.2%	2.4%	オーバーウェイト継続
国 内 債 券	1,405	28.8%	32.8%	-4.0%	アンダーウェイト継続
外 国 株 式	802	16.4%	20.1%	-3.6%	アンダーウェイト継続
外 国 債 券	674	13.8%	10.0%	3.8%	オーバーウェイト継続
現 預 金 等	278	5.7%	5.0%	0.7%	オーバーウェイト継続
そ の 他	32	0.7%	-	0.7%	
合 計	4,883	100.0%	100.0%	0.0%	

* 金額は百万円未満を切り捨てております。

* オーバーウェイトとは計画の配分よりも構成割合が高い状態のことです。逆にアンダーウェイトは、計画より構成割合が低い状態を、また、ニュートラルはほぼ計画どおりの割合の場合を表します。

【国内株式】

前月に比べ、輸送用機器、電気機器の割合を高める一方、銀行業、卸売業のウェイトを引き下げました。

【国内債券】

前月のポートフォリオを維持したことにより、国債、事業債の構成割合は、ほぼ前月と同じになりました。

国内株式保有上位5銘柄

	銘 柄	業 種	組入比率
1	トヨタ自動車	輸送用機器	4.91%
2	三菱UFJフィナンシャルG	銀行業	3.57%
3	日本電信電話	情報・通信業	3.18%
4	東京ガス	電気・ガス業	2.93%
5	三菱商事	卸売業	2.72%

国内債券種類別構成比

	当月末	前月末
国債	49.4%	49.4%
事業債	50.6%	50.6%
合計	100.00%	100.00%

国内株式の運用は「大和住銀日本株式ファンドVA」を活用して行っております。

【外国株式】

スペイン・イタリア株式の組入れ割合が上昇する一方、アメリカ・イギリス株式の割合が低下しました。

【外国債券】

前月のポートフォリオを維持したことにより、米ドル債、ユーロ債の構成割合は、ほぼ前月と同じになりました。

外国株式地域別構成比

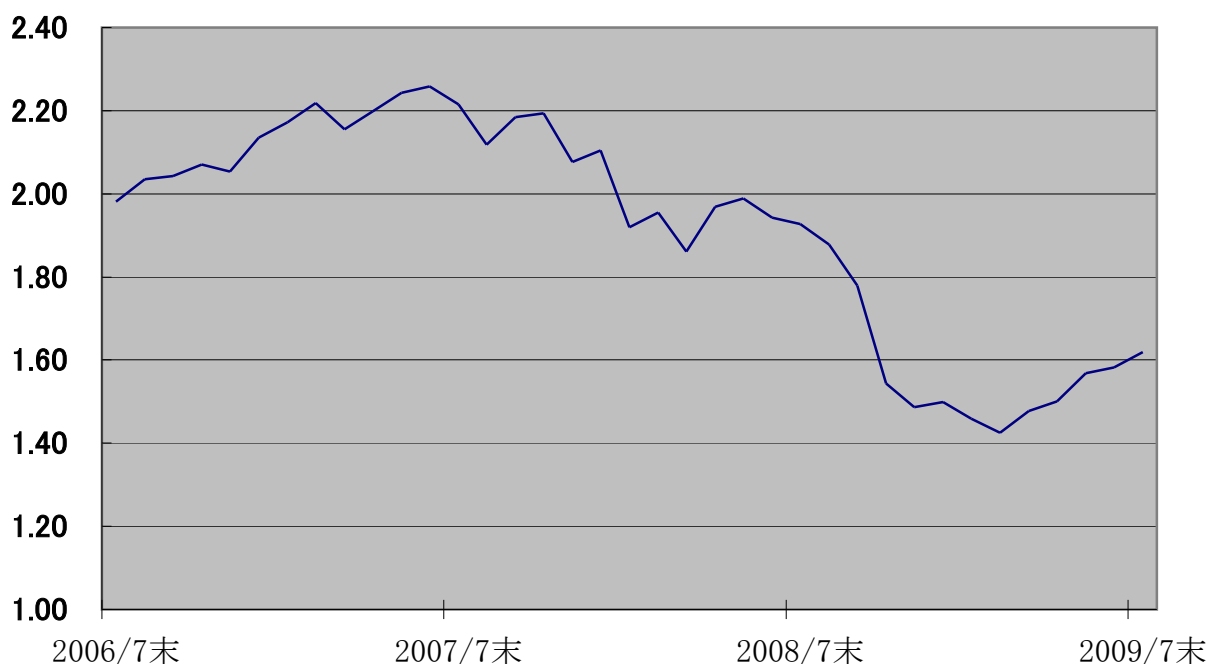
	当月末	前月末
北米	58.1%	59.4%
欧州	36.2%	35.6%
アジア・オセアニア	5.7%	5.0%
その他	-	-
合計	100.0%	100.0%

外国債券通貨別構成比

	当月末	前月末
US\$	51.9%	52.0%
EURO	48.1%	48.0%
合計	100.00%	100.00%

外国株式の運用は「ステート・ストリート グローバル・アセット・ファンド」を活用して行っております。

変額保険インデックスの推移



内外株式相場の上昇により、当月のインデックスの伸び率は+2.26%となりました。

当月末インデックス	インデックス伸び率				
	1ヵ月	6ヵ月	1年	2年	3年
1.6184225128	2.26%	10.88%	-15.99%	-26.95%	-18.33%
	—	—	—	-14.53%	-6.53%

※下段の数値は、年複利利回りです。

注1) インデックスとは特別勘定の運用実績を指数化したもので、設定時を「1」としています。なお、この運用実績は保険料から死亡保障等に充てられる部分を控除したものの伸び率です。

注2) 上記数値は、特別勘定の過去の運用実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。